

| | |
|---------|---|
| 氏名 | 大郷 剛 |
| 授与した学位 | 博士 |
| 専攻分野の名称 | 医学 |
| 学位授与番号 | 博乙第 4196 号 |
| 学位授与の日付 | 平成19年9月30日 |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当) |
| 学位論文題目 | Acute and Chronic Management in Patients with Brugada Syndrome Associated with Electrical Storm of Ventricular Fibrillation (心室細動のelectrical stormを伴うBrugada症候群患者における急性期及び慢性期治療) |
| 論文審査委員 | 教授 成瀬 恵治 教授 佐野 俊二 准教授 高橋 英夫 |

学位論文内容の要旨

Brugada症候群において心室細動を頻回に繰り返すelectrical stormと呼ばれる状態になる場合がある。イソプロテレノール等の β 刺激薬の心室細動抑制効果は報告されているが、electrical storm 発作急性期にイソプロテレノール持続静脈投与後の慢性期内服治療及び経過に関しては検討されていない。また electrical storm を発症する患者群の臨床的特徴は明らかになっていない67人の Brugada 症候群患者を3群に分けて後ろ向き検討を行った。I群(7人:Electrical storm 群)、II群(39人:心室細動/失神を認めた症候性群)、III群(21人:無症候性群)。I群において electrical storm 急性期はイソプロテレノール持続静脈投与が奏効し、慢性期はデノパミンを中心とした内服治療にて心室細動を抑制した。臨床的、血液検査、心電図、及び電気生理学的特徴には3群間で有意差は無かった。

論文審査結果の要旨

Brugada症候群において心室細動を頻回に繰り返すelectrical stormと呼ばれる状態になる場合がある。イソプロテレノール等の β 刺激薬の心室細動抑制効果は報告されているが、electrical storm 発作急性期にイソプロテレノール持続静脈投与後の慢性期内服治療及び経過に関しては検討されていない。また electrical storm を発症する患者群の臨床的特徴は明らかになっていない。67人の Brugada 症候群患者を3群に分けて後ろ向き検討を行った。I群(7人:Electrical storm 群)、II群(39人:心室細動/失神を認めた症候性群)、III群(21人:無症候性群)。I群において electrical storm 急性期はイソプロテレノール持続静脈投与が奏効し、慢性期はデノパミンを中心とした内服治療にて心室細動を抑制した。臨床的、血液検査、心電図、及び電気生理学的特徴には3群間で有意差は無かったことを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。

審査概要:

本研究は症例数が非常に少ないElectrical storm発作を起こすBrugada症候群患者を扱った論文ではある。特にFig.2に示すようにElectrical storm発作を起こしたI群は7症例である。さらに急性期イソプロテレノール持続静脈投与後群の慢性期治療法に関してデノパミン内服を中心とした種々の治療を行っているが各群症例数=1と少数であり、症例数増加により結果の解釈に幅が出ることが否めないのではないかという意見が出されたことが論文審査の過程にあったことを記載する。